

大府市ふれ愛サポートセンター運営委員会意見・質問に関する取りまとめ

委員の皆様からいただいたご質問および事務局回答は下記のとおりです。

2 議題

(1) 利用登録団体の申請、審査結果について

意見	事務局回答
なし	

(2) 令和3年度の利用実績について

意見	事務局回答
障がい者相談支援センターについては人員配置を変えたり、計画部門を新たに設置されたりと利用しやすくなって良いと思う。 高齢者相談支援センターも今後高齢化に伴い、改善面等は何かあるのでしょうか。	今後も高齢者人口が増加することが予想されるため、随時高齢者相談支援センターの人員を拡充して対応していく予定です。
障がい者団体の利用や、定番の団体以外利用が進まない点について、予約の取りにくさの他に、障がい者団体等の貸館のニーズが夜間、土日にある可能性について検討してみたいか。	現在スピカの貸館については平日9時から19時までの利用となっておりますが、開所時間帯以降の夜間帯や土日の開所につきましては人員配置とニーズの兼ね合い等を踏まえながら、検討してまいりたいと思います。

(3) コロナ禍における貸館業務の在り方について

意見	事務局回答
2022.1月下旬現在では、コロナ感染者数が過去最高で、先を見通せない状態です。活動の制限の中で、飲食を伴う活動内容がどんなものか分からないですが、ひとまず飲食も中止をしても良いと思います。	スピカを含む市の施設では、飲食を伴う活動は制限（原則禁止）している状況ですが、例外的に黙食にて認められる活動もあるため、今後も新型コロナウイルスの動向を注視しつつ、市として足並みを揃えた対策を実施していきます。
利用者の感染予防と体調管理と、利用の記録をしっかりしたうえであれば、マスクを着用した状態で行える程度の軽スポーツやレクリエーションについては、利用を認めても良いのではないのでしょうか。	原則スピカではマスクを着用し、感染防止策を徹底したうえでのスポーツ活動は実施可能です。ただし、コロナ禍の動向を踏まえ、市としてまん延防止等重点措置実施中はスポーツ活動を禁止、緊急事態宣言発令中もスポーツ活動を禁止した実績があるため、今後も新型コロナウイルス感染対策として、スポーツ活動を禁止する場合もあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

情報交換などがあればご記入ください

意見	事務局回答
利用団体登録をしている団体の数が多いが、この一年で全く利用をしていない団体が多くあります。事務作業の軽減のために、利用実績が一定期間ない団体の整理など検討してみるのはいかがでしょうか。	利用登録団体は2年に1度登録更新を実施しており、利用実績がない団体等はその際に登録更新をするかどうか確認し、希望されない場合は登録抹消することにより、団体の管理を実施しています。
一般市民からの目線ですが、「ふれ愛サポートセンター」かたと電話がかかり家族が対応しました。「スピカ」にあるふれ愛サポートセンターなら、すぐに理解できたと言っていました。「スピカ」という名前はすぐにわかる様ですので付け加えると伝わりやすいと思いました。	本施設は「大府市ふれ愛サポートセンター」が正式名称、「スピカ」が通称ですが、「スピカ」という呼び名が浸透してきたことは喜ばしいことであり、現在は状況に合わせて名称と通称を使い分けております。貴重なご意見ありがとうございます。

貴重なご意見等ありがとうございました。

次回は令和4年度の第1回は4年7～8月に開催予定です。